

第2回北海道地域学校協働活動推進協議会 兼 コーディネーター等協議会（道東会場）

【道東】平成30年10月18日（木）（帯広市・十勝合同庁舎） 参加者：162名

1 説明「地域学校協働活動及び放課後児童クラブの方向性について」

説明者 学校教育局義務教育課子ども地域支援グループ 主査 石田 貴宏

「新・放課後子ども総合プラン」、「北海道の各事業の状況」、「放課後子供教室と放課後児童クラブの一体型や連携型の取組事例」について説明がありました。

参加者からは、「新・放課後子ども総合プランの概要について理解を深めることができました。」、「一体型で行うメリットについて知ることができました。」、「一体型や連携型の取組について関心を持ちました。」などの感想が寄せられました。



2 事例発表「上士幌町における教育支援活動の取組について」

発表者 上士幌町教育委員会 社会教育推進員 橋 大介氏

町民にCSを理解してもらうための取組や学校支援活動（「ゆめ育」応援団）についての事例報告があり、CSコーディネーターが校内で勤務し、地域と協働した学習活動の企画・調整・運営を実施していることなどの説明がありました。

参加者からは、「地域全体で学校を支援していることは素晴らしいです。」、「各関係機関とのきめ細かな連携が大切だということがわかりました。」、「コーディネーターの具体的な活動について知ることができました。」などの感想が寄せられました。



3 コーディネーター等協議会

講師 学校教育局義務教育課子ども地域支援グループ 主査 石田 貴宏

地域コーディネーターの役割や具体的な活動に関わる課題解決に向けたグループワークを行うとともに、学校と地域との協働・連携による効果的な取組を進めるための手法である熟議を参加者同士で体験をしながら学びました。

参加者からは、「コーディネーターで期待される役割や取組について参考になりました。」、「熟議体験を通して、課題解決するための方法を学ぶことができました。」などの感想が寄せられました。



4 情報交流「子どもたちのために、私たちができること」

進行 十勝教育局教育支援課社会教育指導班 社会教育主事 休 宮 裕 貴

参加者が小グループに分かれ、それぞれの立場で、地域での日頃の実践や課題等を共有し、課題解決に向けて何ができるかを協議しました。

参加者からは、「他市町村の取組や工夫している話を聞いて勉強になりました。」、「様々な立場の方との情報交流はすごく有意義でした。」などの感想が寄せられました。



5 講義「子どもの貧困の状況および北海道の対策について」

講 師 北海道保健福祉部子ども未来推進局子ども子育て支援課自立支援グループ主査
嘉多山 裕 史

「北海道の子どもの貧困の現状」、「北海道子どもの生活実態調査結果の概要」、「子どもの貧困と子ども虐待」、「地域における子どもの居場所（子ども食堂など）の取組」について説明がありました。

参加者からは、「アンケート結果やグラフを見て、現状を知ることができました。」、「子どもの貧困について様々な面から捉えることができ理解を深めることができました。」、「食の大切さ、子どもの居場所づくりの大切さが分かりました。」、「子ども食堂の活動について関心を持つことができました。」などの感想が寄せられました。



6 選択研修「資質向上のためのスキルアップ」

A 演習「子どもの体力向上につながるプログラム」

講 師 NPO 法人幕別札幌内スポーツクラブ「Spo-RE(スポーレ)」
クラブマネージャー 小 田 新 紀 氏

子どもの体力や運動能力の向上を図ることができる様々な運動の紹介とその効果について講師から説明があり、その後、実際に体験を行いました。

参加者からは、「身近な道具を使うので学童などの活動の中で実践してみたいです。」、「ボールなども使い、とても楽しかったです。子どもたちと一緒に運動遊びをやりたいと思いました。」、「とても楽しく体を動かすことができました。」などの感想が寄せられました。



B 演習「創作活動プログラム」

講 師 道立青少年体験活動支援施設ネイパル足寄
グループリーダー 櫻 井 裕 子 氏
社会教育主事 越 河 健 一 氏

羊の毛を利用して、フェルト作りの基本的な工程を体験しながら、短時間で簡単にできる「オリジナルのアクセサリー」を制作しました。

また、子どもの発想を広げるための働きかけや創作活動全般における安全面での留意点について説明がありました。

参加者からは、「難しかったけれども、可愛いものを作ることができてよかったです。」、「学童の子どもたちに教えやすいので、やってみたいです。」などの感想が寄せられました。

